

第6学年 社会科学学習指導案

令和5年10月 日（曜日） 校時
第6学年

1 単元 幕府の政治と人々の暮らし

2 単元の目標

- 江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解するとともに、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 江戸幕府の政治の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、考えたことを説明したり、それをもとに議論したりする力を身に付けるようにする。
- 江戸幕府の政治について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、予想や学習計画を立て、学習を見直したり振り返ったりして解決しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について理解している。 ② 調べたことを年表や図表などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。
思考・判断・表現	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問いを見いだし、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について考え、表現している。 ② 参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	① 江戸幕府の政治について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 単元について

(1) 子供の実態と培いたい資質・能力について

子供たちはこれまで、歴史上の偉人の活躍や世の中の様子について資料をもとに調べたりまとめたりする活動に意欲的に取り組んでいる。政治学習を先行実施しているため、歴史学習においても現代の日本の政治の仕組みと比較しながら考える姿が見られる。子供たちは前単元までに、鎌倉時代に武士による政治が始まり、戦国時代には信長、秀吉、家康が町づくりや反対勢力への対応、外国との関係についてそれぞれに工夫し業績を上げたことにより全国が統一されていったことをつかんでいる。

本単元では、参勤交代の制度や大名の配置の意味を考えさせることを通して、江戸幕府が安定的な政治を行うために強い力で大名を支配するしくみを整えたことを捉えさせる。その中で、根拠をもとに自分の考えを表現し、友達と意見を交流することによって意見を比較したり関連付けたりして、より深く考える力を育みたい。

(2) 教材について

本単元は、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利して江戸に幕府を開いて以降、3代将軍徳川家光の頃までに強固な幕藩体制を確立させるまでの時期を取りあつかう。幕藩体制の確立には、徳川氏による支配を全国に広めるとともに、幕府に対抗する勢力を弱体化させなくてはならない。当時、徳島は淡路とともに阿波一国を蜂須賀家によって知行されていた。豊臣秀吉恩顧の大名であり、西国でも雄藩を誇っていた蜂須賀家は、いわゆる外様大名である。蜂須賀家としても生き残りをかけ、大坂の陣に参戦し軍功をあげたり徳川家と縁組を行ったり様々な労役命令にも従ったりした。そのため、江戸時代260年間を取り潰しや国替えもされず、幕末まで藩を存続させることができた。まさに、蜂須賀家としては、徳川将軍家に対して御恩と奉公の関係を守り、様々な命令に従っていた。本単元の学習内容としては、外様としての蜂須賀家、蜂須賀家独特の参勤交代、幕府に準じた身分制の確立などを地域教材として活用できると考える。とりわけ、参勤交代とそれに伴う徳島・江戸との二重生活がいかに藩財政を苦しめていたか、またそれが特に外様大名の力をそぎ落とすという幕府のねらいによるものであったか、これらのことが身近な徳島城の主である蜂須賀家を通してとらえることができるのではないかと考え、単元構成に位置付けることにした。

(3) 子供の意識をつなげる単元構想について

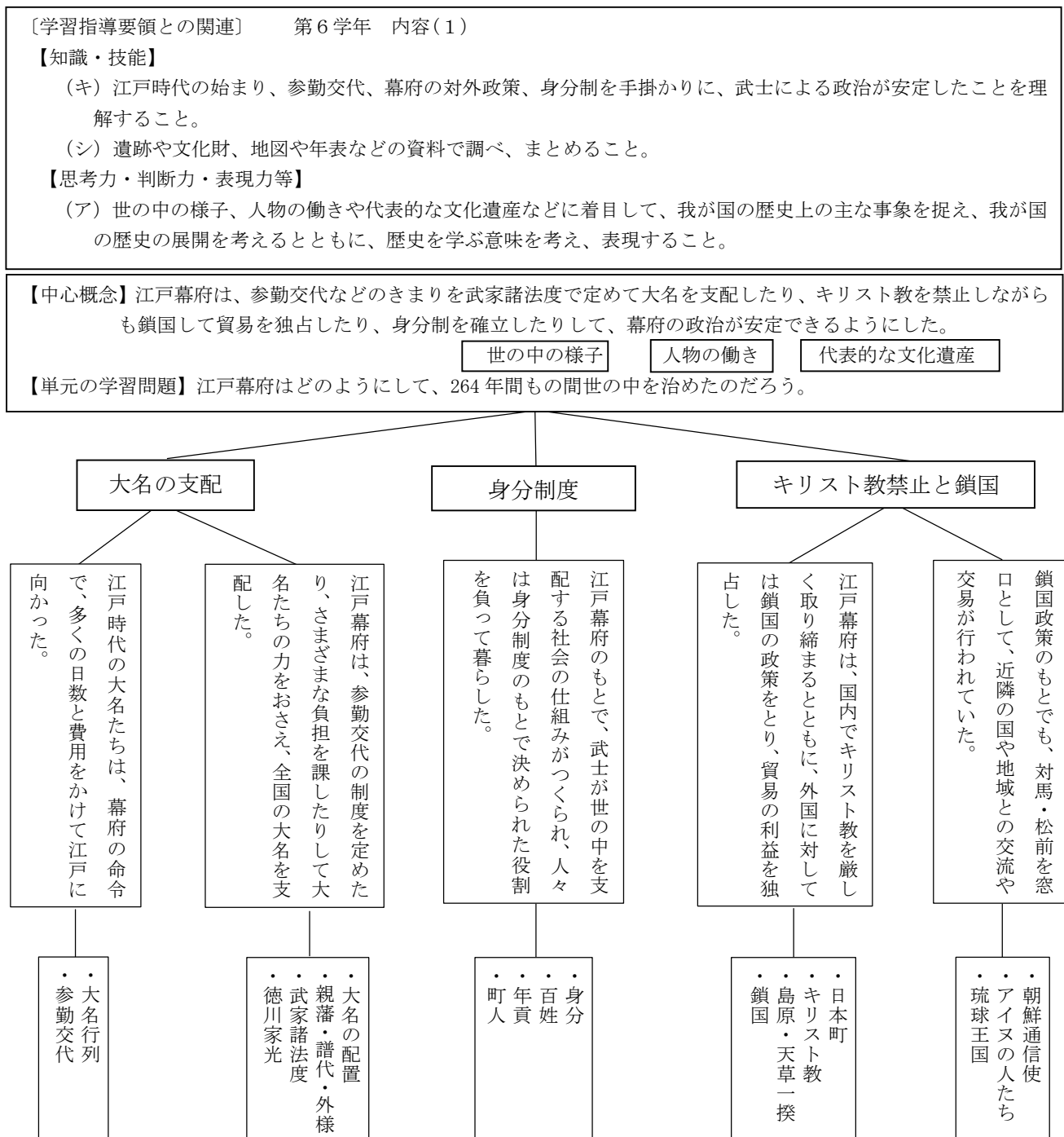
①本時までの学習

子供たちは前単元までに、鎌倉時代に武士による政治が始まり、戦国時代には信長、秀吉、家康は町づくりや反対勢力への対応、外国との関係についてそれぞれに工夫し業績を上げたことにより全国が統一されていったことを理解している。単元の導入では前単元を手がかりに、「もし自分が将軍なら幕府を長く続かせるためにどんな取り組みをするか」について考えることを通して「江戸幕府は、どのようにして264年もの間世の中を治めたのだろうか」という学習問題をつくり、幕府の政策について調べまとめる学習を進めてきている。さらに、身近な徳島藩の参勤交代について調べることにより、江戸幕府の大名統制が全国に行き届いていたことを理解した。また、調べたことを分類したりまとめたり、新たな問いを投げかけたりすることで1時間の問いに対する答えの理解を深めることができるだろう。

②本時以降の学習

本時では、調べたことを根拠に「江戸幕府が264年もの間安定した政治を行うことができたのは、どのような政策があったからか」について考えることを通して、単元全体で学んだことをもとに江戸幕府の政策のねらいについて考えることができるようにしたい。次時には、幕府の政策や出来事を関係図に表すことにより、幕府の政治について多角的に捉えることができるようにしたい。

(4) 単元の構造図



5 指導計画（全9時間）

□…学習問題、□…本時のめあて、◆…主な評価

段階	活動と主な評価	子供の意識の流れ	指導・支援	評価
問題をつかむ	① 前の時代を振り返り、学習問題をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・信長や秀吉の時代と比べると、徳川の時代はとても長く続いたんだね。 ・武士たちが勝手なことをしないように見張る。 ・武士だけでなく人々に対する取り組みもしたと思うよ。 ・信長はキリスト教を保護したけど、江戸幕府ではどうだろう。 	(資) テープ図 ○信長、秀吉、家康の政権の長さを比較したり、将軍だったらどんな対策をすることが必要か考えたりすることにより、これからの学習で調べてみたいという意欲を高められるようにする。	思①
	江戸幕府は、どのようにして264年もの間世の中を治めたのだろう。			
予想をたてる 調べ方を決める	② 学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・参勤交代の制度を定めたことじゃないかな。 ・身分制度が強まったことが関係あると思うよ。 ・鎖国が完成したことかな。 ・大名たちに対してどんな対策をしたのか調べればいいな。 ・教科書や資料集で調べてみよう。 	(資) 江戸時代の年表 ○江戸時代が長く続いたのはどうしてかについて年表をもとに予想することにより、「大名の支配」「人々の暮らし」「外国に対する政策」について調べていくという課題を明確にする。	態①
調べたしかめる	③④ 江戸幕府が大名に対して行った政策について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島藩は船に乗って参勤交代をしていたんだね。 ・参勤交代は時間もかかるし、お金もかかる大変なきまりだったんだね。 ・外様は遠くに配置したと思うよ。 ・大名の配置の仕方を工夫したんだね。 ・武家諸法度というきまりを作って大名たちに守らせようとしたんだね。 ・人々に対してはどんな取り組みをしたんだろう。 	(資) 徳島藩の参勤交代の資料 (資) 大名の配置の地図 (資) 取りつぶされる大名 ○徳島藩の参勤交代の資料を調べることで、大名たちにとって参勤交代がいかに大変であったか理解できるようにする。	知① 知②
	⑤ 江戸幕府の人々に対する政策について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・百姓が8割もいるんだね。 ・武士はたった7%しかいないよ。 ・身分制度をつくって、生活を制限されたんだね。 ・農民は五人組などの、厳しいきまりでおさえられていたんだね。 ・町人も決められた場所で暮らしていたんだ。 	(資) 身分ごとの人口の割合のグラフ (資) 徳島市の町名を表した地図 (資) 百姓の暮らし ○身分ごとの人口のグラフを提示することにより、7%の武士が90%を超える人々をどのように治めることができたのか疑問をもてるようにする。	知①
	⑥ 江戸幕府の外国に対する政策について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めはキリスト教を許していたのに、禁止することにしたんだね。 ・3万7000人もの人々が一揆を起こしたんだ。 ・出島で中国とオランダとだけ貿易をしたと書いてあるよ。 ・鎖国をすることで幕府が利益と情報を独占したんだね。 	(資) 鎖国までの年表 (資) 出島の様子絵 ○江戸時代の初期に外国との間で盛んだったことを想起させた上で、鎖国までの年を提示することにより、なぜ鎖国をする必要があったのかという問題意識を引き出すようにする。	知①
	⑦ 鎖国のもとでの外国とどのように交流したのかについて調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域では、外国と交流をしていたんだね。 ・朝鮮通信使は江戸時代に12回も来たんだ。 ・鎖国をしていたけれど、朝鮮や琉球王国を通して交流や交易をしていたんだね。 	(資) 交易のあった国の地図 (資) 交易のあった国の様子絵 ○交易のあった国と日本の地図を提示することにより、江戸時代の地理的に近い国との関わりについて考えることができるようにする。	知①
みんなできえ 話し合う	【判断を求める問い】江戸幕府が264年間も続いたのは、どの政策があったからだろう。			
	⑧ 調べたことをもとに、江戸幕府が264年もの間安定した政治を行うことができたのは、どのような政策があったからかについて考え話し合おう。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・参勤交代や江戸での生活でたくさんお金を使わなければいけなかったからじゃないかな。 ・五人組で連帯責任にして必ず年貢を納めさせるようにしたからじゃないかな。 ・鎖国をして情報を制限したからじゃないかな。 ・どれもが幕府を長く続かせるために作られたんだね。 	○自分の考えをピラミッドチャートに書き表すことにより、なぜその政策が重要だと思ったのか根拠を明確にしてまとめたり友達との考えと比較したりできるようにする。	思②
深める ひろげ	⑨ 幕府の政策や出来事に関係図に表そう。	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府は武士に対してきまりを守らせていたね。武士は従いたくなくても従わなければいけなかったよ。 	○江戸時代に生活した人の立場に立つことにより、当時の人々の思いを考えながら意見を書けるようにする。	思①

6 本時の指導について

本時のポイント	児童たちが書いた意見をタブレット上で見合うことができるようにするとともに、話し合いで出た意見を板書で「武士に対する政策」「人々に対する政策」「外国に対する政策」の3つに書き分けることにより幕府の政治がそれぞれに応じた政策をとることで安定した政治につながったことに気付くことができるようになるか。
----------------	---

(1) 本時の目標

江戸幕府が264年も続いたのは、どの政策があったからかを話し合うことを通して、幕府が強い力で武士や農民や町民、外国に対しての政策を進めたことで政治が安定できるようにしたことを捉え、調べたことを根拠に考えを主張することができる。

(2) 本時の展開

(…本時のめあて、 …子供の意識、 …教師の問いかけ・働きかけ、 は資料)

子供の意識の流れ	学習活動及び◇指導・支援 ◆評価
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">幕府は武士に対して厳しいきまりをつくっていたね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">幕府は厳しい身分制度で国を治めているんだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">鎖国をして外国の情報が入らないようにしていたね。</div> </div>	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。⑩</p> <p>◇ 前時までの振り返りを紹介することにより、本時の話し合いの意欲が高まるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;">江戸幕府が264年間も続いたのはどの政策があったからだろう。</div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">参勤交代で大名たちにお金をたくさん使わせたからだと思うよ。大名はたくさんのお金を使って、力を蓄えることができなかったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">身分制度をつくって逆らうことができないようにしたからだよ。住む場所も決められ、武士には歯向かうことができないんじゃないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">キリスト教を禁止して信者たちが団結して一揆を起こさせないようにしたからだと思うよ。</div> </div>	<p>2 江戸幕府が264年も続いたのはどの政策があったからか、自分なりに考える。⑩</p> <p>◇ 書き出しを例示したピラミッドチャートに書き表すことにより、選んだ政策にはどんな効果があったのか根拠をもとに考え書き表すことができるようにする。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">武家諸法度だと思うよ。逆らうと領地を取り上げられるから幕府に歯向かう力をそぎ落としたのだと思うよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">五人組で連帯責任にして年貢を必ず納めさせることで、幕府は必ず年貢を得ることができたからじゃないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">鎖国をすることで外国の情報等を入れてこないようにしたり、外国に攻められにくくなっていたりしたんだと思うよ。</div> </div>	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 100%;">幕府はそれぞれ力を入れて取り組んでいたけど、本当にそこまでする必要はあったのだろうか。一つくらいゆるめても大丈夫なんじゃないかな？</div>	<p>3 江戸幕府が264年も続いたのはどの政策があったからかについて話し合う。⑩</p> <p>◇ <u>タブレット上で友達のを考えを見比べたり、構造的に板書に表したりするとともに、「本当にそこまでする必要はあった？」を問うこと</u>によって、どの政策も幕府を維持させるためになくてはならないことだったことに気付くことができるようにする。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">武家諸法度を守らせないと、武士たちが力をもって反抗してくるかもしれないよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">身分制度で身分をはっきり分けないと、仕事に専念できないし、武器をもって団結されたら大変だよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">鎖国をすることで外国に攻められにくくなっていったんじゃないかな。</div> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;">幕府は大名や農民町人、外国のそれぞれに合わせて幕府に歯向かうことができないような政策をつくることで264年間も続く政治をしたんだね。</div>	<p>4 本時の学習を振り返る。⑤</p> <p>◇ 振り返りの書き出しを例示することにより、友達と考えを比べたり自分の考えの変化を実感したりできるようにする。</p> <p>◆ 幕府が強い力で政策を進めたことで政治が安定できるようにしたことを捉え、これまで調べたことを根拠に考えを書いたり伝えたりできたか。 (思②)【発言・ワークシート】</p>